

## 備北地区・地域フォーミュラリ薬剤 数量集計での各病院コメント

令和 7 年 12月分(1)

ARB	各病院コメント
三次中央	引き続き、アジルサルタン20mg、オルメサルタン20mgの2剤が、上位を占めています。
三次地区医療センター	推奨薬は全て増加、特にアジルサルタンは倍増していました。 オプションのカンデサルタンは減少しており、推奨薬の比率は上昇しました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	テルミサルタン40mg以外はすべて先月の使用量を下回っている。 特にアジルサルタン20mg・オルメサルタン20mgの使用量はかなり少ないが、稼働日数も少ないと患者数が少なかったためと思われる。
PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	断トツ1位はランソプラゾール15mgで、他のラベプラゾール10mg・エソメプラゾール20mg、タケキヤブ10mg・20mgはほぼ同等でした。
三次地区医療センター	今年度の中では高い数値が出ているオプション薬のボノプラザンは大きな変化なし 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	今年度の中では高い数値が出ている 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる
スタチン	各病院コメント
三次中央	1位はアトルバスタチン10mgでした。 推奨薬ではロスバスタチン2.5mg、オプション薬ではプラバスタチン10mgが増加しています。
三次地区医療センター	定期処方日が多かったためか、全体的に数量増加。推奨薬の比率は高い状態を保っています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	今年度の中では高い数値が出ている 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる
$\alpha$ -GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボースが減少。処方件数が少ないと傾向は不明です。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	処方量は少ない月となった 2週間に1回、月2回の受診日のため毎回次の受診日まで処方はされている。 そのため正月の影響はなかったものと思われる
抗ヒ剤	各病院コメント
三次中央	春と秋の時期に比べると低下傾向でした。
三次地区医療センター	オロパタジンは半減したが、他は増加。特にビラスチンは大きく増加。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	アレルギー症状が増加し、フェキソフェナジン60mgよりも 切れの良いレボセチリジン5mgの処方が増えたものと思われる
消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	感染症の影響もあり、アセトアミノフェン細粒が一時的に増加しています。
三次地区医療センター	ロキソプロフェン増加も総数はほぼ変わりなし。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	消炎・鎮痛薬は全体的に若干増加傾向にある(11月を除く)
歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	こちらも感染症の影響で、推奨薬・オプション薬共に一時的に増加しています。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	12月は対象患者が少なかった
ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	推奨薬・オプション薬共に全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	アレンドロン、ミノドロンとも横ばいです。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	大きな違いはなく安定して処方されている

## 備北地区・地域フォーミュラリ薬剤 数量集計での各病院コメント

令和 7 年 12月分(2)

ヘルペス薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	バラシクロビル1例処方
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	対象患者がおらず処方なし
Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	1位はアムロジピン5mg、2位はニフェジピン20mgでした。
三次地区医療センター	全体的に数量が増加。処方日が多かったためと、季節的な要因もあるか？
庄原赤十字病院	アゼルニジピン錠16mgが採用され、数量の報告を開始
西城市民病院	今年度の中では高い数値が出ている 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる
グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	断トツ1位はレパグリニド0.25mgでした。
三次地区医療センター	数量減。処方薬の傾向が変化しているのか、減少傾向にあるようです。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	処方量は若干少ないものの、ほぼ影響はない
多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	イコサペント酸エチル900mgの処方量は横ばいでした。
三次地区医療センター	処方例が少なく、傾向不明。
庄原赤十字病院	イコサペント酸エチル900mgが採用され、数量の報告を開始
西城市民病院	今年度の中では高い数値が出ている 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる
尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	フェブキソstatt 10mg・20mgが上位を占めています。
三次地区医療センター	フェブキソstattが大きく増加しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	今年度の中では高い数値が出ている 正月対応のため処方日数が増えた結果と思われる